

令和3年度 技術情報第3号 水稲 トビイロウンカ

令和3年6月10日
静岡県病虫害防除所長

水稲のトビイロウンカが平年よりも早く飛来しています。
今後の発生状況に留意し、適切な防除をお願いします。

1 発生状況

令和3年5月23日、県内4ヶ所(*)に設置している水稲予察灯のうち、磐田市加茂の水稲の予察灯において、トビイロウンカ(図1)の初誘殺が確認された。その後、5月25日に磐田市富丘の畑に設置された予察灯、6月5日に上記水稲の予察灯においても誘殺が確認された(いずれも各1頭)。本県での初誘殺は、平年(7月上旬頃)よりも1ヶ月以上早く、本虫による坪枯れ被害(図2)が多発した令和2年より約40日早い。

本年は、東海地方で5月16日頃に平年(6月6日頃)より21日早く梅雨入りした。このため、梅雨前線に伴う中国大陸からの下層ジェット気流に乗じたトビイロウンカの飛来が早まっている。気象庁の1か月予報(6月5日~7月4日)によると、向こう1ヶ月の気温は平年より高く、降水量は少ない予報で、梅雨明け後の気温が高く降水量が少ないと本虫の増殖が助長される。

* 県内の水稲予察灯設置地点： 島田市中河、磐田市加茂、磐田市五十子、浜松市西区(計4ヶ所)

2 防除対策

(1) 今後、病虫害防除所から示す発生状況等の情報に留意する。

(病虫害防除所ホームページ内 最新のウンカ類誘殺グラフ URL :

<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujohp/GRAPH/PDF/sejirounka.pdf>)

JPP ネット有効積算温度シミュレーションによると、5月23日の飛来を起点とした第1世代若齢幼虫の発生時期は6月中~下旬頃と予測される(磐田市)。

(2) 今後移植を行う場合は、本虫に効果の高い薬剤(トリフルメゾピリム等)の含まれる育苗箱施用剤を使用する。移植を終了したほ場で本虫に効果の高い薬剤の含まれる育苗箱施用剤を使用していない場合は、発生状況を確認し、発生を確認した場合は同時期における他のウンカ類の防除と併せて速やかに本田防除を行う。防除に当たっては、トビイロウンカの生息部位である株元に、薬剤が十分に到達するように留意する。

(3) 薬剤等の詳細については、静岡県農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準

(<http://www.s-boujo.jp>)を確認する。また、不明な点は病虫害防除所及び農林事務所等の指導機関に問い合わせる。



図1 トビイロウンカ
(左：長翅型成虫、中央：短翅型成虫(雌) 右：幼虫)



図2 トビイロウンカによる
収穫期の坪枯れ被害

表1 水稲におけるトビイロウンカの主な防除薬剤¹⁾

商品名	希釈倍率・使用量	使用時期	使用回数	作用機構 分類コード ²⁾	
MR. ジョーカー粉剤DL	3～4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	I:3A	
アルバリン顆粒水溶剤	3000倍		4回以内 ³⁾	I:4A	
スタークル液剤10	1000倍				
スタークル豆つぶ	250～500g/10a				
スタークル顆粒水溶剤	3000倍				
エクシードフロアブル	2000倍		3回以内	I:4C	
トレボン粉剤DL	3～4kg/10a		3回以内	I:3A	
キラップフロアブル	1000～2000倍		2回以内 ⁴⁾	I:2B	
MR. ジョーカーEW	2000倍		収穫14日前まで	2回以内	I:3A
トレボンEW	1000倍			3回以内	
トレボン乳剤	1000～2000倍	3回以内		I:3A	
トレボン粒剤	2～3kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	I:3A	
なげこみトレボン	水溶性容器10個 (500ml)/10a	5葉期以降 (但し、収穫21日前まで)	3回以内	I:3A	

- 1) 静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準より抜粋。詳細や不明な点等は、病害虫防除所及び農林事務所等の指導機関に問い合わせる。
- 2) 薬剤を作用機作ごとに分類した番号。薬剤耐性の発達を回避するためには、作用機作の異なる剤をローテーションで使用する必要がある。
- 3) 但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内
- 4) 但し、は種時(直播)又は移植時までの処理は1回以内

【問合せ先】静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

URL <https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>